

② 免疫血清検査サーベイ実施の手引

I. 概要と試料の取り扱い

1. 項目一覧

感染症項目：HBs 抗原（定性・定量）、HCV 抗体（定性・定量）、

2. 試料一覧

試料番号		21	22
試料内容		液状血清	液状血清
検査項目(略称)	容量	0.5mL	0.5mL
HBs 抗原(定性・定量)		●	●
HCV 抗体(定性・定量)		●	●

【試料取扱注意事項】

- 1) 試料の取り扱いは感染の危険性があるものとし、患者検体と同様に十分注意してください。
- 2) 試料を受け取りましたら速やかに外観上の確認をお願いします。直ちに測定しない場合は冷蔵庫で保存してください。もし、試料に破損が認められ測定データの信頼性に疑義が生じる場合は、事務局へ連絡ください。
- 3) 試料は液状血清です。測定前に室温にもどし、十分に混和しできるだけ速やかに測定してください。

II. サーベイ実施方法及び注意事項

1. 測定条件について

重複測定、日間測定など測定条件は特に規定しませんので、貴施設独自の測定方法で測定してください。

各属性および結果入力についての留意点に必ず目を通してください。

各項目のフリーコメント欄（255 文字以内）は、「その他」を選択された場合の内容の記載、測定値が測定範囲外となった時に項目名、試料 No、値の入力用として使用してください。

2. 参加項目設定とコード選択時の注意事項

参加項目設定で参加にチェックしてください。チェックがない項目は回答できません。
測定方法・測定試薬・測定装置の該当コード表は、回答入力画面の PDF ファイルを参照してください。また、該当コードがない場合は“その他”を選択してください。試料の測定値が記入されていても、解析に必要な設問に空欄があると評価が行えませんが**最後に必ず【一括入力チェック】を実施してください。**

1) 測定装置

測定装置は、測定装置一括回答「測定装置マスター一覧 (PDF)」を参照してください。

2) 測定試薬

測定試薬を選択ください。測定試薬を選択すると連動して測定方法が表示されます。

3) カットオフ値と判定保留域 (グレイゾーン)

感染症項目定量 (HBs 抗原、HCV 抗体) の判定保留域 (グレイゾーン) は日常検査の報告時に使用している設定範囲をお答え下さい。また、判定保留域を設定されていない施設はカットオフ値のみ入力してください。なお、その値は未満として入力してください。

4) 試薬有効期限月の入力について

感染症定量項目 (HBs 抗原、HCV 抗体) については試薬有効期限月 (01~12) の入力をお願いします。なお定性項目のみの参加の場合は、空欄のままです。

5) 結果入力について

HBs 抗原、HCV 抗体は定量の欄があります。自動分析装置による測定法を使用して報告する施設のみ、定量欄に計測値 (出力値) を入力してください。

HBs 抗原、HCV 抗体 (定量) で計測値 (出力値) が測定範囲外の場合は、その上下限值を入力し、所定の欄に以下: 「1」 或いは以上: 「9」 を入力してください。

Ⅲ. 問い合わせ先

免疫血清検査の精度管理調査に関する不明な点、疑問点等についての問い合わせは、施設コード、施設名、担当者氏名を明記のうえ FAX で下記の担当者へお願い致します。

お返事に時間がかかることがあります。時間に余裕を持ってお問い合わせください。

大塚 哲大

大分市医師会立アルメイダ病院 臨床検査科

E-mail tetudai.chinnennen@gmail.com